



より道 わき道  
まわり道  
それらもすべて道

平成30年3月23日  
倉敷市立味野小学校  
第5学年  
春休み号

## 1年間のご協力ありがとうございました

桜の花の便りが聞かれる季節になりました。

振り返ってみれば・・・4月、高学年の仲間入りをした子どもたちの顔は、喜びと不安でいっぱいでした。新しい友達が増え、委員会活動が始まり、高学年としての自覚も次第に芽生えてきました。

「海の学習」では、友達と力を合わせることの大切さに気づき、苦しくても頑張りぬく強さを身に付けました。家庭、学校を離れ、仲間たちと過ごした2日間は大変貴重な経験となりました。

「運動会」「学校音楽祭」「学芸会」などの行事を通して、大きく成長していく子どもたちを見ることは、私たちにとって大きな喜びでした。

「6年生を送る会」では、会の計画、準備から運営、片付けにいたるまで、子どもたちの手で立派にやり遂げました。また、「卒業式」には、在校生の代表として出席し、心のこもった呼びかけや歌声を体育館いっぱい響かせることができました。その姿に頼もしさを感じるとともに、4月からの味野小学校の機関車としての活躍を確信しました。

いつも温かく見守り、ご協力くださった保護者の皆様には深く感謝いたします。1年間本当にありがとうございました。

担任一同、これからも子どもたちの成長を見守り、応援していきます。

いよいよ27日(火)から、春休みです。そして4月からは、最高学年としての生活が始まります。健康や安全に気をつけて、規則正しい生活をしてほしいと思います。そして、4月9日(月)には、元気で登校できるよう、よろしく願いいたします。

倉敷市立味野小学校 5年団 藤原 佳奈子 大宅 一平

## 春休みのくらしのきまり

(\*お子さんと一緒に読んで確認してください。)

「春休みのくらし」を守ってきまり正しい生活をしましょう。

- ・用事のない時に子どもだけで商店街、スーパーなど、店へ出入りしないようにしましょう。
- ・学区外へ行く時は、必ず保護者同伴で行きましょう。
- ・自転車に正しい乗り方で乗る、飛び出しをしないなど、交通規則を守りましょう。
- ・出かける時は、必ず行き先を家の人に言いましょう。
- ・暗くなる前に家に帰りましょう。

# \*\*\* お知らせとお願い \*\*\*

## 新学期への準備

- ・学用品の整理

絵の具セット，道具箱，毛筆セット，裁縫セットなどの中身で不足しているものの補充をしておきましょう。新しい物や消えかかっている物へ記名をしておきましょう。

- ・図工下巻・地図帳は6年生になっても使いますので，家で必ず保管しておきましょう。（家庭科・保健の教科書，家庭科ノート，探検ボード，英語の名札は学校で保管しています。）

**始業式 4月9日(月) 7:50～8:10に登校しましょう**

持ってくる物

- ・上ばき ・体育館シューズ ・ぞうきん(2枚) ・道具箱(中身を入れて) ・ビニール袋(3枚)
- ・連絡帳と筆記用具 ・春休みの宿題 \*ランドセルで登校しましょう。\*

**☆ 登校したら6年生のくつばこにはっている名簿を見て，自分のクラスと出席番号を確かめます。自分の出席番号の所にくつを入れて，6年生の教室に入ります。**

**休み中，何かあった時の連絡先** 味野小学校 TEL. 472-2059

## 全国学力・学習状況調査について

新6年生を対象に4月17日(火)に実施されます。教科は国語・算数・理科で，その他学習等に関する意識調査を含めて，半日日程で行われます。すべて5年生終了時までの範囲です。

始業式から17日までの約2週間は行事が多く，あわただしく思われるかもしれません。準備不足にならないように，この春休みに自分の苦手なところなどを中心にしっかり復習してほしいと思います。そして，6年生のよいスタートをきってほしいと思います。

## 「春休みの課題」のやり方

※以下をよく読んで，丁寧に取り組めるよう，よろしくお願ひいたします。

- (1) 課題は，6年生の担任へ提出してください。
- (2) 教科は国語・算数・理科・社会となっています。じっくりと取り組んでください。
- (3) 85ページ～は6年生に進級してから取り組むページです。
- (4) 答え合わせは各自で行ってください。答えのページは切り取ってもかまいません。可能な場合は，保護者の方々のご協力をいただくとより効果的です。
- (5) 記述式の問題が多くなっています。よく考えても分からないときは，解答をよく読み，その解答の意味をよく考えながら，解答を赤鉛筆または赤ボールペンで書き写してください。
- (6) 問題によっては，解答は例の場合があるので，ポイントが書けていれば正解とします。ご家庭で答え合わせをしている際，解答・解説を読んでも，自分の答えが正解がどうか迷う場合は，無理に○×をつける必要はありません。ただし，正答例をよく読み，その意味をよく考えた上で，お子さん自身が解答例を赤鉛筆または赤ボールペンで書き写してください。